

工 事 番 号							
設計年度	令和2年度	橋梁補修工事（市道須波西町17号線1号橋梁外1橋） 三原市須波西二丁目					
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要				起 工 理 由			
施工内容 橋梁補修 N=2橋 舗装工 A=10.0m ² 床版架替工 N=5.0枚 石積充填工 V=0.6m ³ 断面修復工 V=0.395m ³ ひび割れ補修工 L=2.0m 表面被覆工 A=34.0m ²							

仕 様 書

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市須波西二丁目 橋梁補修工事(市道須波西町17号線 1号橋梁外1橋)に適用する。
 - 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・ **土木工事共通仕様書（令和2年8月）広島県**
- ※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
・その他関連規格類

第2節 情報共有システム

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は、工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第2章 施工条件

第1節 工程

- 1 施工時期・時間の制限

施工内容	工事全般
時期	全工事期間
時間	調整による
施工方法・理由	工事箇所が生活道路であるため、調整を十分に行い理解を得たうえで施工を行うこと。

第2節 用地

- 1 現場の復旧
原形復旧とする。

第3節 安全対策

- 1 交通誘導員・警戒船・保安要員
作業期間中、交通誘導員を2（人／日）見込んでいる。

第4節 工事用道路

- 1 一般道路

使用期間	工事施工期間
使用時間	8時～17時
工事中・後の処理	随時 清掃， 工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

第5節 建設副産物

1 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第6節 その他

1 工事用機資材の仮置き

場所 受注者が責任をもって確保すること。

2 新技術・新工法・特許工法の指定

- 1) 表面被覆工における表面含浸材料は、オズモ（NETIS番号 HK-070015-V）を見込んでいる。
- 2) 石積充填工における充填材料は、トースイCON（NETIS番号 CG-140010-A）を見込んでいる。

3 各補修工の事前調査

- 1) 受注者は、洗浄後に本図をもとに詳細計測、試験を行い、補修数量の協議を発注者で行った後、補修を行うこと。

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和2年8月）『1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 工事保険等

第1節 法定外の労災保険の付保

1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第5章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
橋梁保全工事	須波西町17号線1号橋梁	式		1	レベル1
上部工		式		1	レベル2
舗装工		式		1	レベル3
アスファルト舗装	t=60mm	m2		10	レベル4
床版架替工		式		1	レベル3
プレキャスト床版	1700*1144*200	枚		5	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル3
アスファルト舗装取壊し	t=60mm	m2		10	レベル4
コンクリート構造物取壊し	無筋構造物、人力	m3		0.2	レベル4
コンクリート構造物取壊し	鉄筋構造物 人力	m3		2	レベル4
運搬処理工		式		1	レベル3
殻運搬	アスファルト殻	m3		0.6	レベル4
殻処分	アスファルト殻	t		1	レベル4
殻運搬	無筋コンクリート	m3		0.2	レベル4
殻処分	無筋コンクリート	t		0.5	レベル4
殻運搬	鉄筋コンクリート	m3		2	レベル4
殻処分	鉄筋コンクリート	t		4	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
下部工		式		1	レベル2
石積充填工		式		1	レベル3
石積充填		m3		0.6	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		4	レベル4
橋梁保全工事	須波西町5号線2号橋梁	式		1	レベル1
上部工		式		1	レベル2
断面修復工		式		1	レベル3
断面修復工		構造物		1	レベル4
ひび割れ補修工		式		1	レベル3
ひび割れ注入工		構造物		1	レベル4
表面被覆工		式		1	レベル3
下地処理	施工規模100m2以下	m2		34	レベル4
表面被覆工	施工規模100m2以下	m2		34	レベル4
水切設置工		式		1	レベル3
水切設置工	軟質PVC製	m		9	レベル4
止水処理工		式		1	レベル3

工事数量総括表

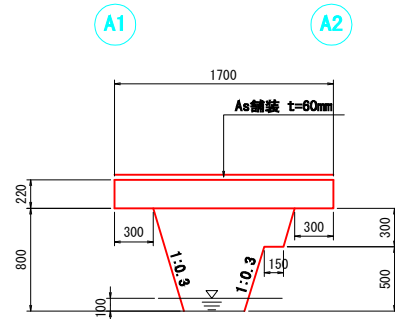
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
伸縮目地止水処理工（縦目地）	シーリング材充填	m	17	レベル4
打継ぎ目地止水処理工（横目地）		m	10	レベル4
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	無筋コンクリート	m ³	0.3	レベル4
殻処分	無筋コンクリート	t	0.7	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	12	レベル4
直接工事費				
共通仮設費率分				
共通仮設費計				
純工事費				
現場管理費				
工事原価				
一般管理費率分				
契約保証費				
一般管理費計				
工事価格				

工事数量総括表

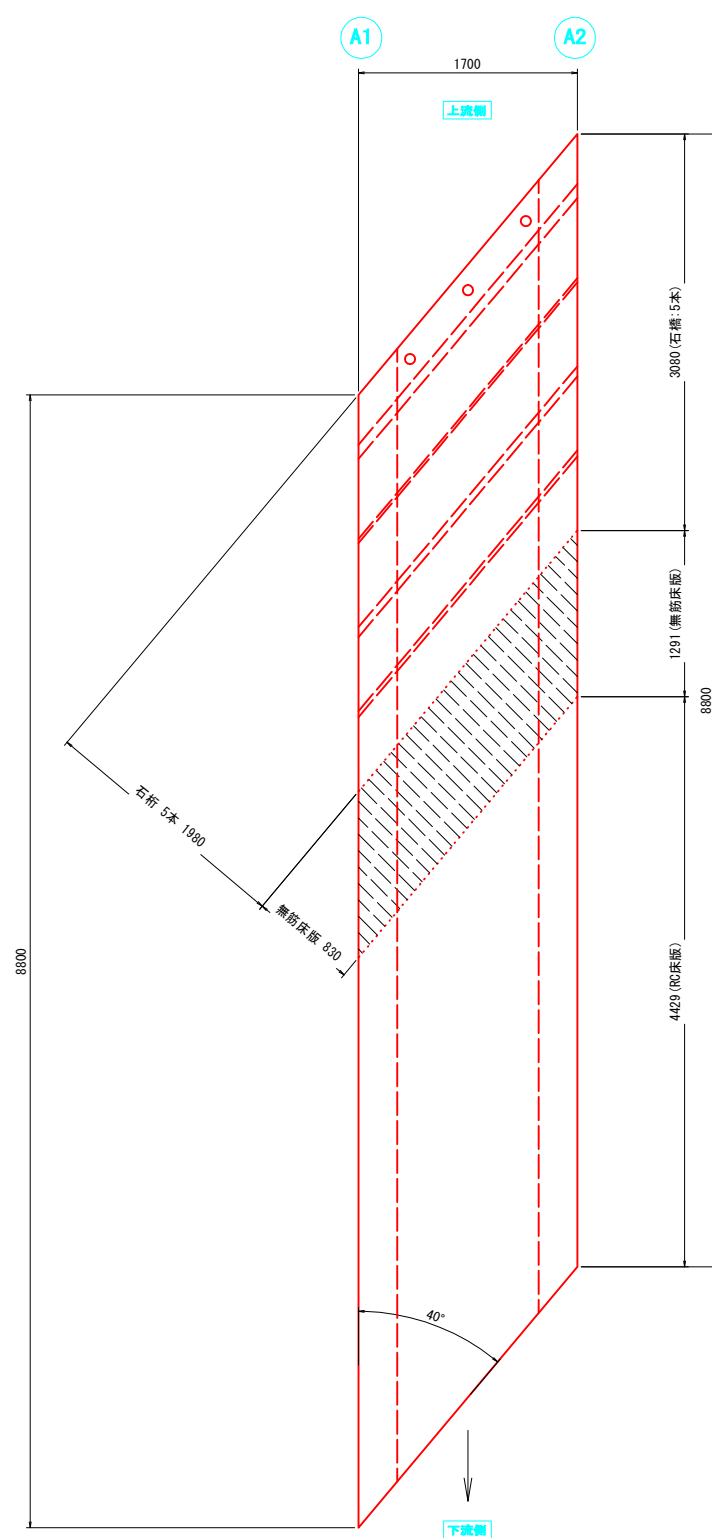
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
消費税相当額					
工事費計					
契約保証費計					

現橋一般図(須波西町17号線1号桥梁)

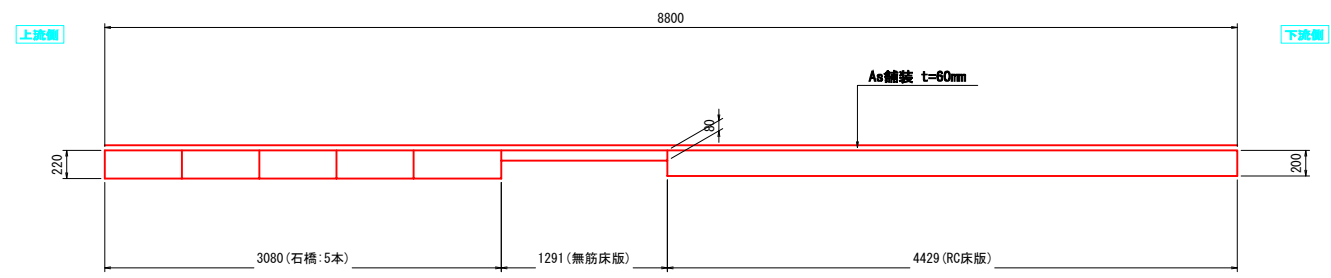
側面図 S=1/30



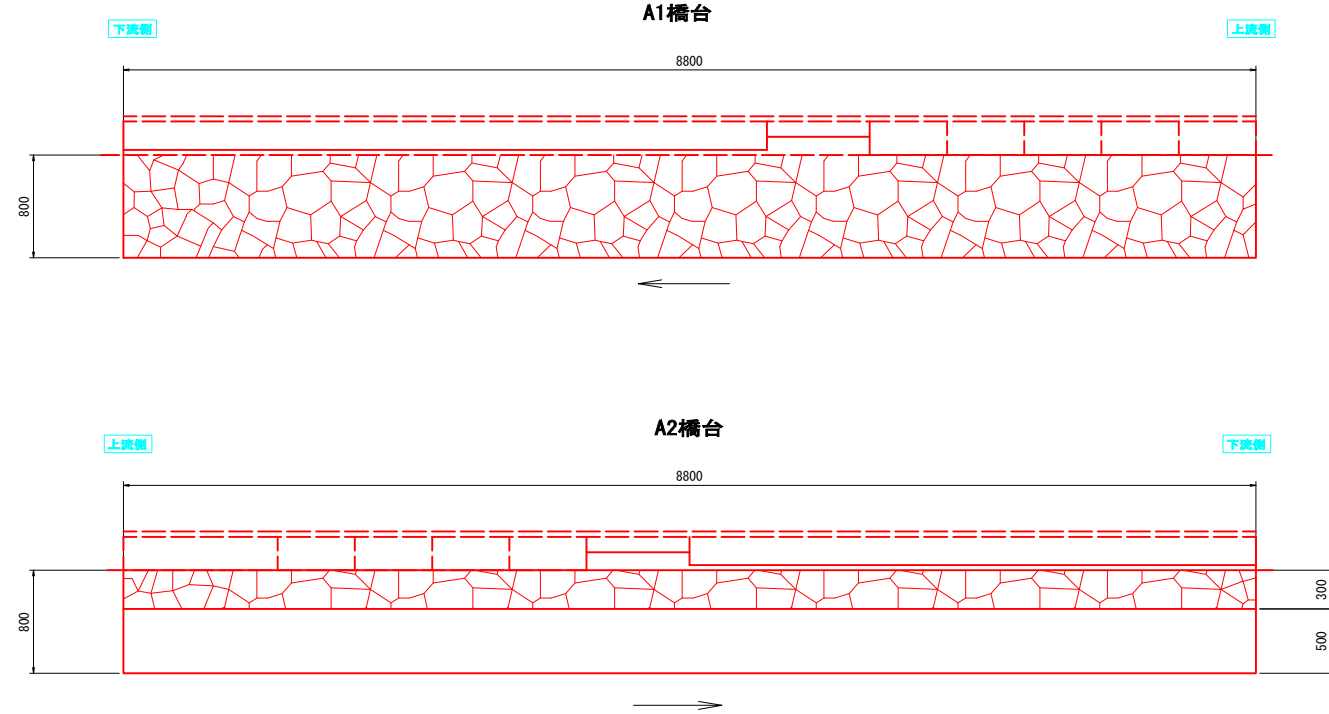
平面図 S=1/30



断面図 S=1/30



正面図 S=1/30



設計条件

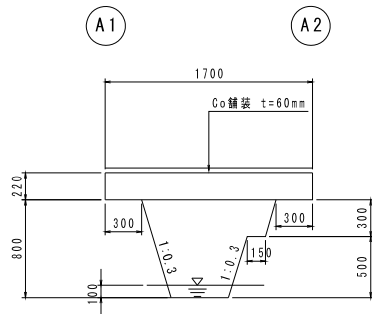
橋格	車道橋
所在地	三原市須波西町二丁目
上部工形式	石橋+無筋床版+RC単純床版橋
下部工形式	石橋橋台
径間数	1径間
橋長	1.700m
桁長	1.700m
幅員	有効幅員 8.800m
斜角	左 40°
平面線形	R=∞
舗装	アスファルト舗装 60mm
設計荷重	床版 T-14(二等橋)
添加物	-
鋼材材質	SS41(想定)
下部工基礎	直接基礎(想定)
適用指針	鉄筋コンクリート道路橋設計示方書(S39年) 鋼道路橋設計示方書(S39年)
架設年次	1970年(RC橋)

注記)
1. 本図面は、既存資料及び現地寸法調査にて作成した図面である。

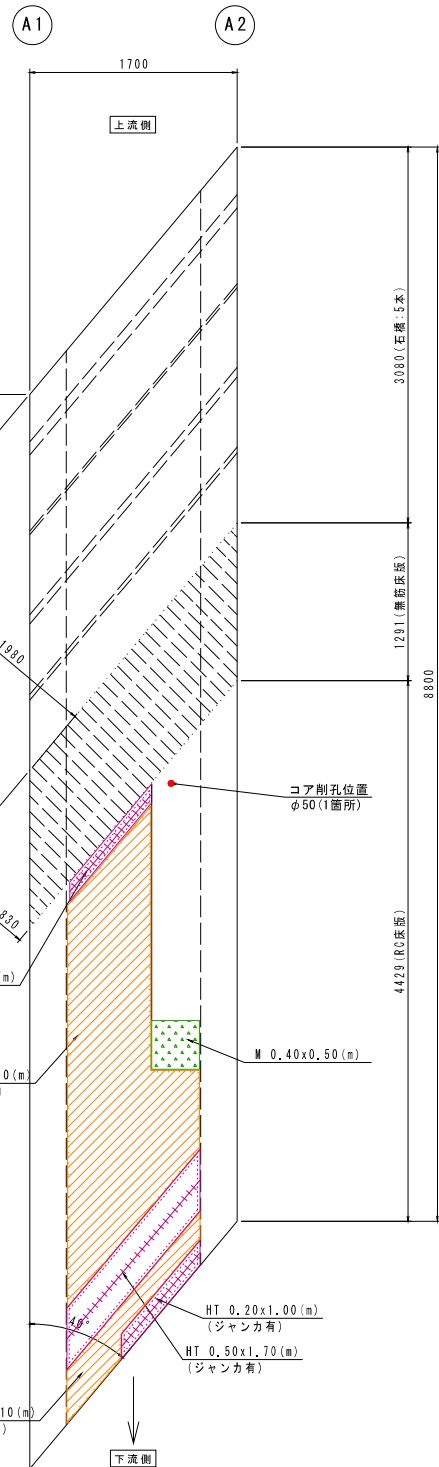
工事名	橋梁補修工事(須波西町17号線1号橋梁外1橋)		
図面名	現橋一般図(須波西町17号線1号橋梁)		
作成年月日	令和2年9月		
縮尺	図示	図面番号	1/8
会社名	三原市		
事業者名	建設部 土木整備課 維持改良係		

損傷図(須波西町17号線1号橋梁)

側面図 S=1/30

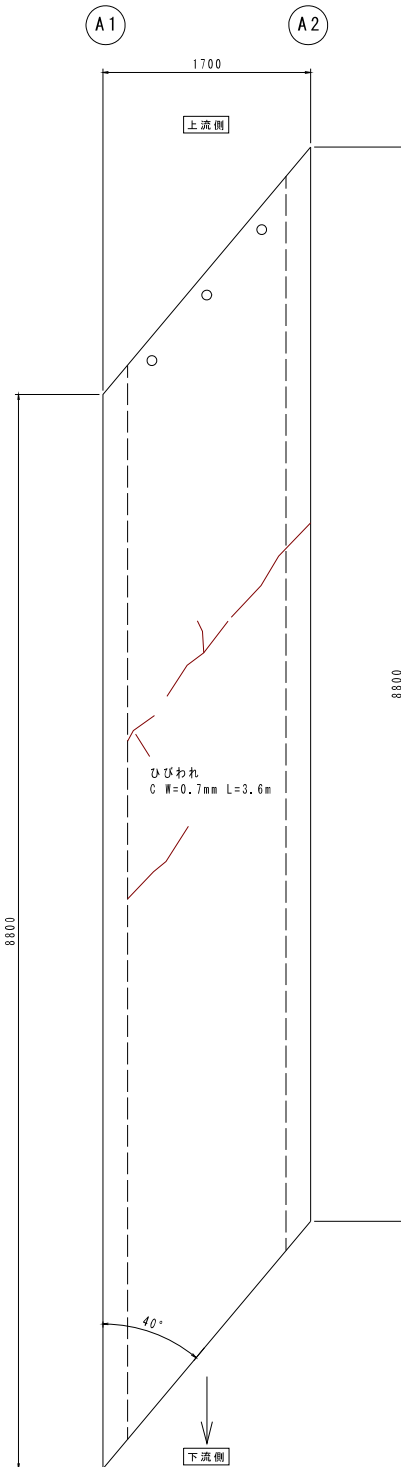


床版下面

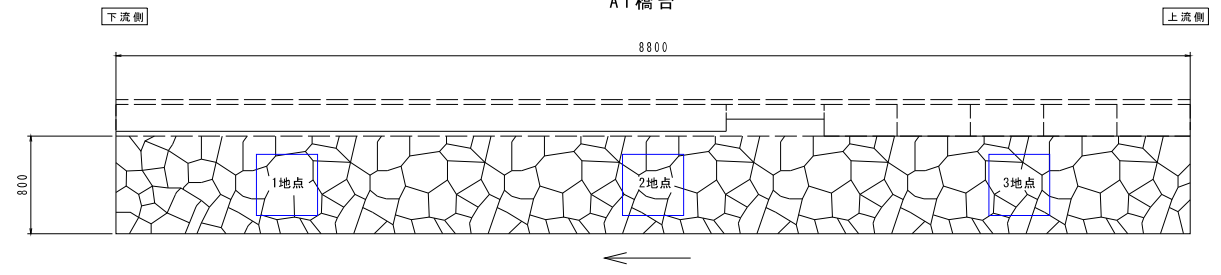


平面図 S=1/30

橋面



正面図 S=1/30
A1橋台



A1橋台間隙率推定

1地点



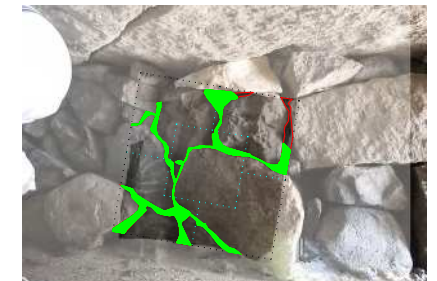
ハッチ部は空隙を示す。間隙率=16.0%

2地点



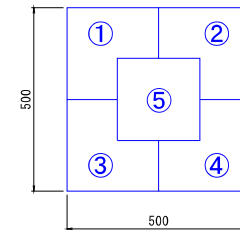
ハッチ部は空隙を示す。間隙率=24.2%

3地点



ハッチ部は空隙を示す。間隙率=11.4%

間隙率 3箇所平均 17.2%



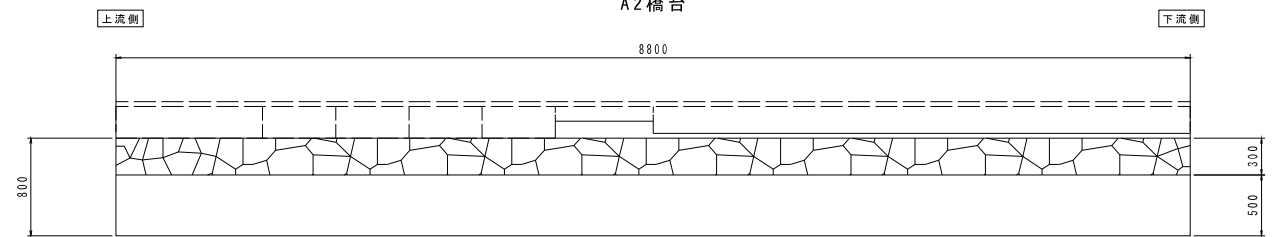
※口500x500(mm)を上図の様に分割し6地点の深さを計測し平均値を算出する。

空隙深さ

	①	②	③	④	⑤	平均値
1地点	50	40	38	20	25	34.6
2地点	20	15	25	10	10	16.0
3地点	25	22	40	36	18	28.2

3箇所平均 26.2cm

A2橋台



※A2橋台は口500x500(mm)範囲を確保できないため、A1橋台を参照した空隙面積割合および空隙深さとする。

凡例

C	ひび割れ(0.2~1.0mm未満)
CS	錆汁を伴うひび割れ(0.2~1.0mm未満)
C	ひび割れ(1.0mm以上)
CS	錆汁を伴うひび割れ(1.0mm以上)
U	コンクリートの浮き
H	コンクリートの剥離
HT	コンクリートの剥離・鉄筋露出
Y	遊離石灰又はエフロレッセンス
R	漏水
T	鉄筋露出
M	ジャンカ

※ひび割れ(0.2mm未満)に関しては対象外とし計上しない。

設計値

	実測平均	丸め値
間隙率	17.2%	20.0%
間隙深さ	26.2cm	30.0cm

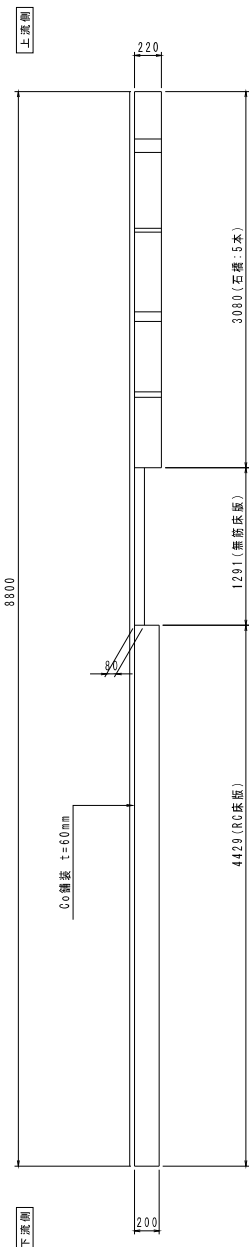
※計測箇所にてバラツキを生じるため、10%および5cm単位に切り上げる。

注記)

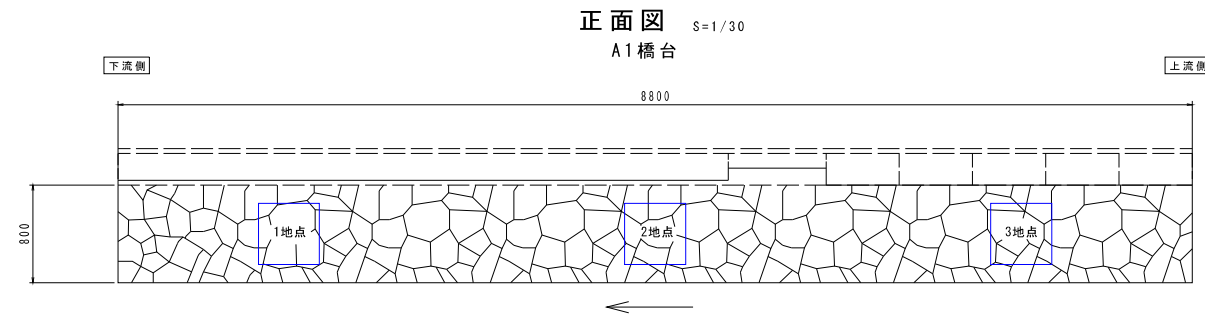
1. 本図面は、既存資料及び現地寸法調査にて作成した図面である。

工事名	橋梁補修工事(須波西町17号線1号橋梁1箇所)		
図面名	損傷図(須波西町17号線1号橋梁)		
作成年月日	令和2年9月		
縮尺	図示	図面番号	2/8
会社名	三原市		
事業者名	建設部 土木整備課 維持改良係		

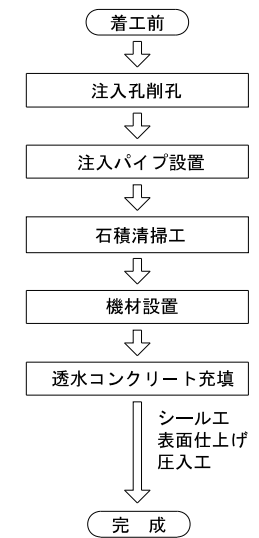
断面図 S=1/30



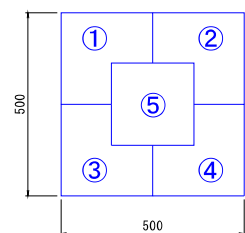
石積橋台補修図(須波西町17号線1号橋梁)



施工フロー



A1橋台間隙率推定



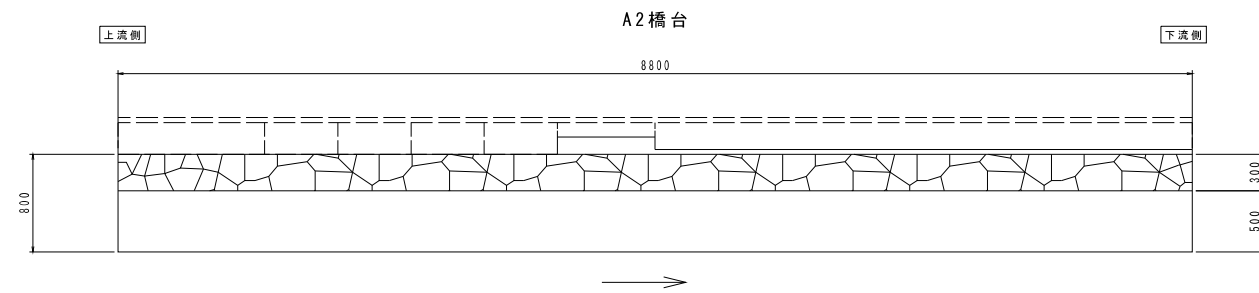
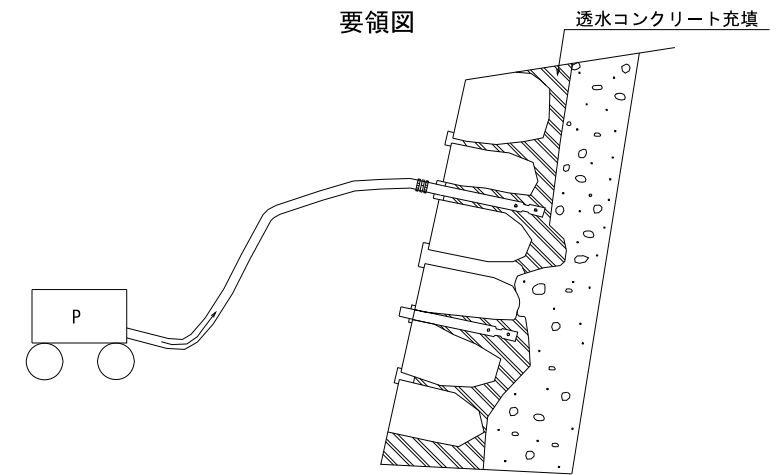
※□500X500(mm)を上図の様に分割し6地点の深さを計測し平均値を算出する。

空隙深さ

	①	②	③	④	⑤	平均値
1地点	50	40	38	20	25	34.6
2地点	20	15	25	10	10	16.0
3地点	25	22	40	36	18	28.2

3箇所平均 26.2cm

要領図



※A2橋台は□500X500(mm)範囲を確保できないため、A1橋台を参照した空隙面積割合および空隙深さとする。

設計値

	実測平均	丸め値
間隙率	17.2%	20.0%
空隙深さ	26.2cm	30.0cm

※計測箇所にてバラツキを生じるため、10%および5cm単位に切り上げる。

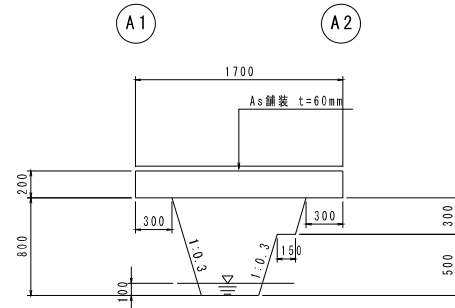
注記

1. 本図面は、調査結果をもとに作成した図面である。
2. 施工時には、天候に十分注意をすること。
3. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
4. 石積充填処理前にはケレン処理、高圧洗浄などにより、充填部を十分に清掃し、汚れや残存モルタルおよび土砂などを除去すること。

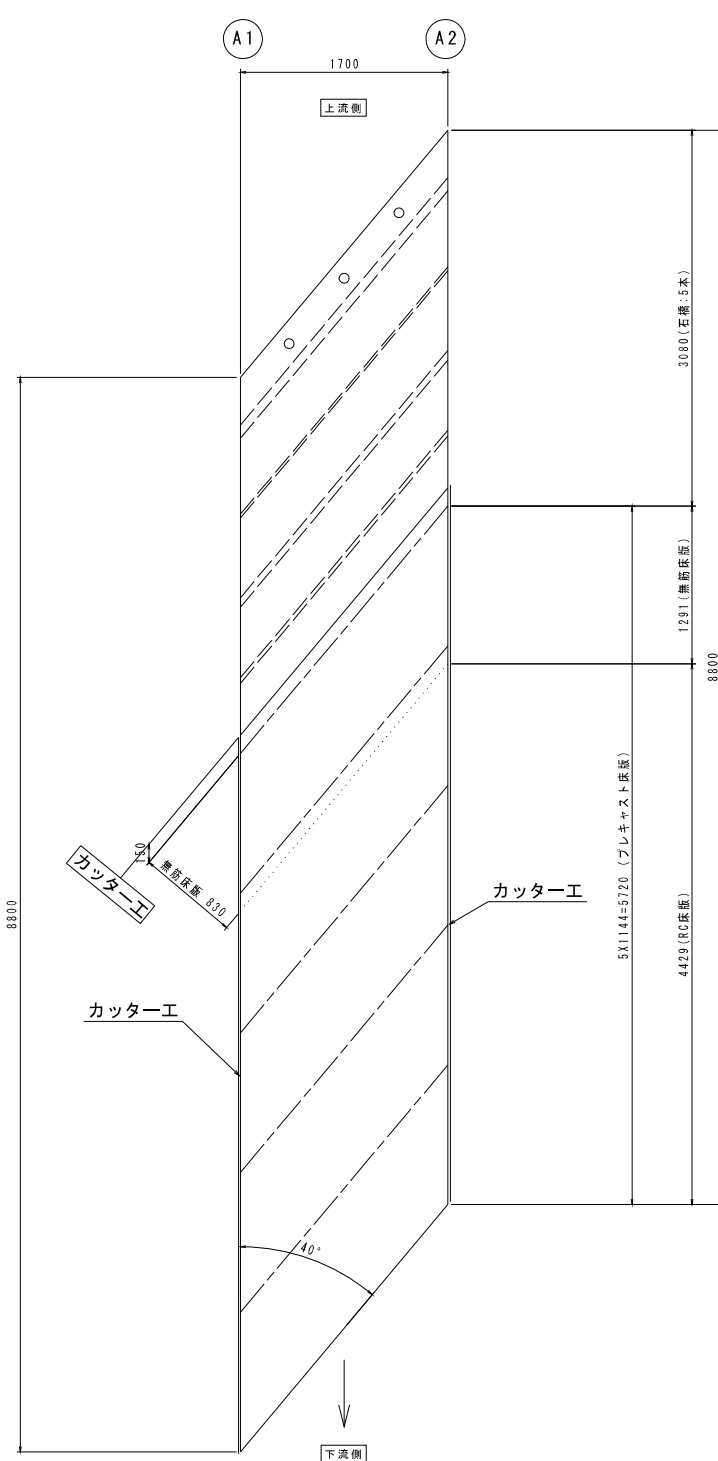
工事名	補修工事(須波西町17号線1号橋梁外1橋)		
図面名	石積橋台補修図(須波西町17号線1号橋梁)		
作成年月日	令和2年9月		
縮尺	図示	図面番号	3/8
会社名	三原市		
事業者名	建設部 土木整備課 維持改良係		

床版取替え案要領図(参考図)

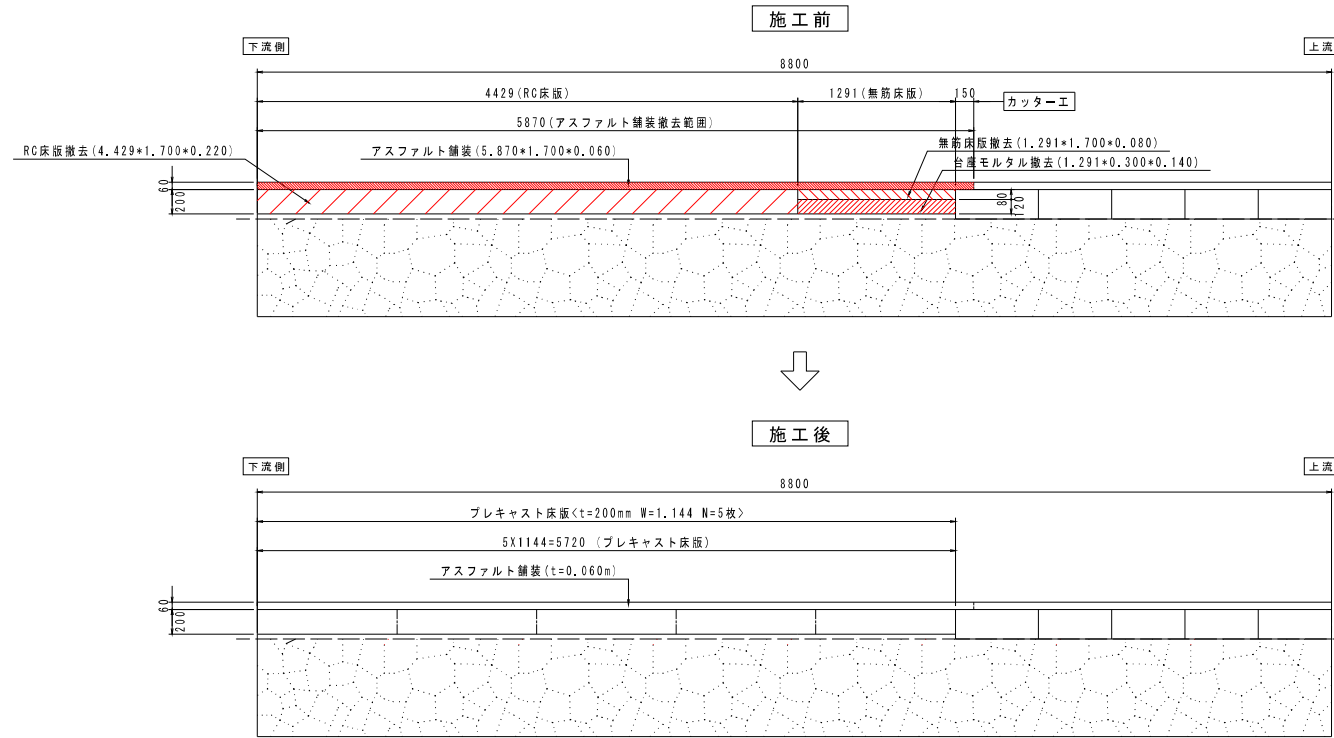
側面図 S=1/30



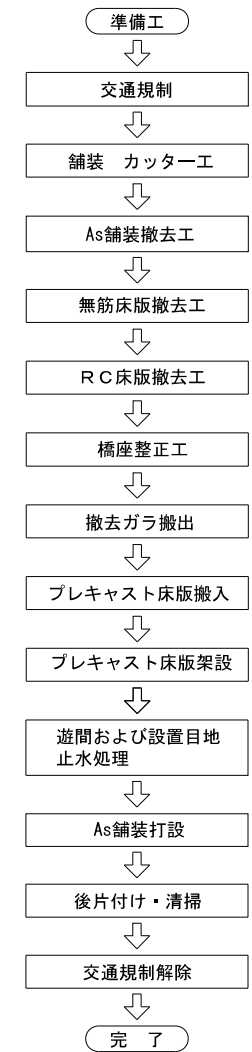
平面図 S=1/30



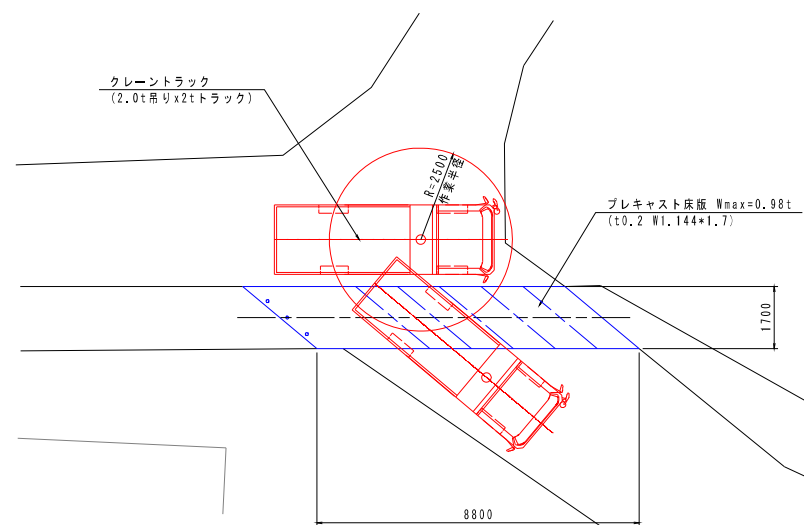
正面図 S=1/30
(下部工共通)



施工フロー



架設要領図 S=1/100



架設要領

- 工場で製作されたプレキャスト床版をクレーントラック(2.0t吊りx2tトラック)に積み現地A1側背面へ搬入する。
 - クレーントラックをA1橋台背面にてプレキャスト床版を吊り上げ、中間床版部よりゆっくり旋回し所定の位置に架設する。
 - 2の作業を繰り返し行い作業半径で架設可能範囲の床版の架設を完了する。
 - 架設したプレキャスト床版上にクレーントラックを移動し残りの床版の架設を完了する。
- ※1. 地耐力が懸念される場合はクレーントラック下に敷鉄板等を敷く。
 ※2. 現工法においては妨げにはならないと推察されるが、電柱、電線が架設の妨げになる場合は、移動すること。

車両通行状況写真

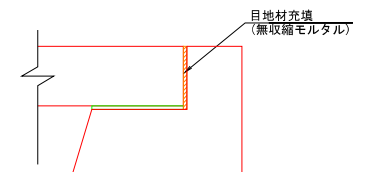


詳細点検時にて汲み取り車量(4t)の通行を確認した。同車両同等にて算定しクレーントラック(2.0t吊りx2tトラック)を選定した。

能力表

作業半径 (m)	1・2断目ブーム (t)
1.7	2.33
2.0	2.03
2.5	1.33
3.0	0.93
3.5	0.73
4.0	0.61
4.5	0.58

端部処理図



注) 床版架設後に目地部等に隙間を生じている場合は、充填処理を施すこと。

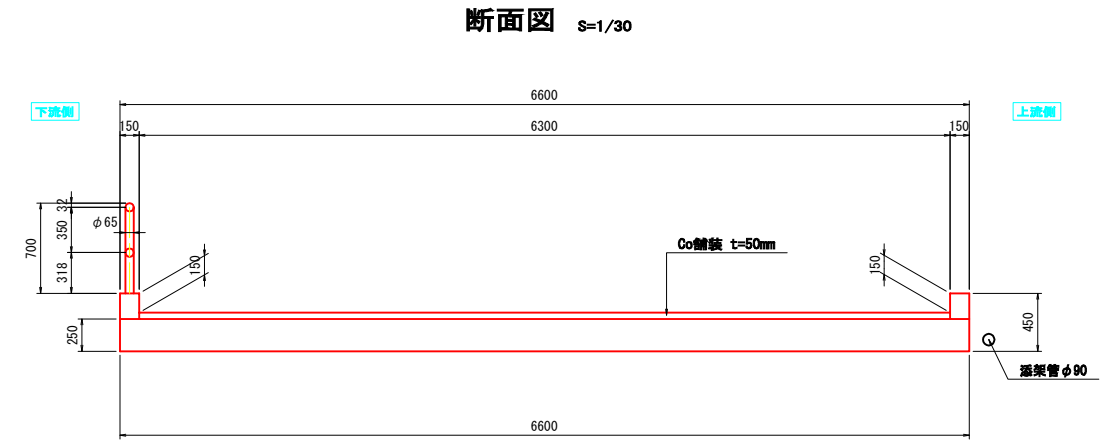
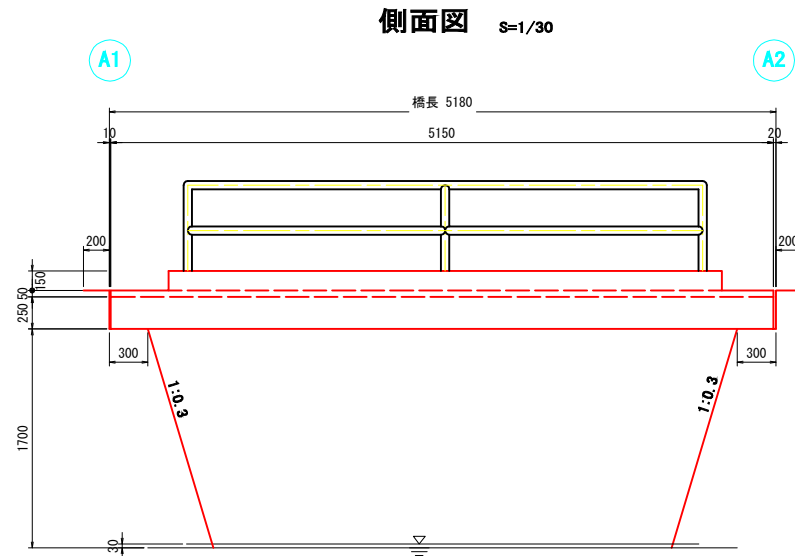
注記

- 本図面は、既存資料及び現地寸法調査にて作成した図面である。
- 床版製作時は形状等は現地測量を施し詳細確認の上、決定のこと。
- 現状はクレーントラックでの搬入・据付けを想定しているが、別と据付け機材の搬入が可能な場合は協議の上、決定のこと。

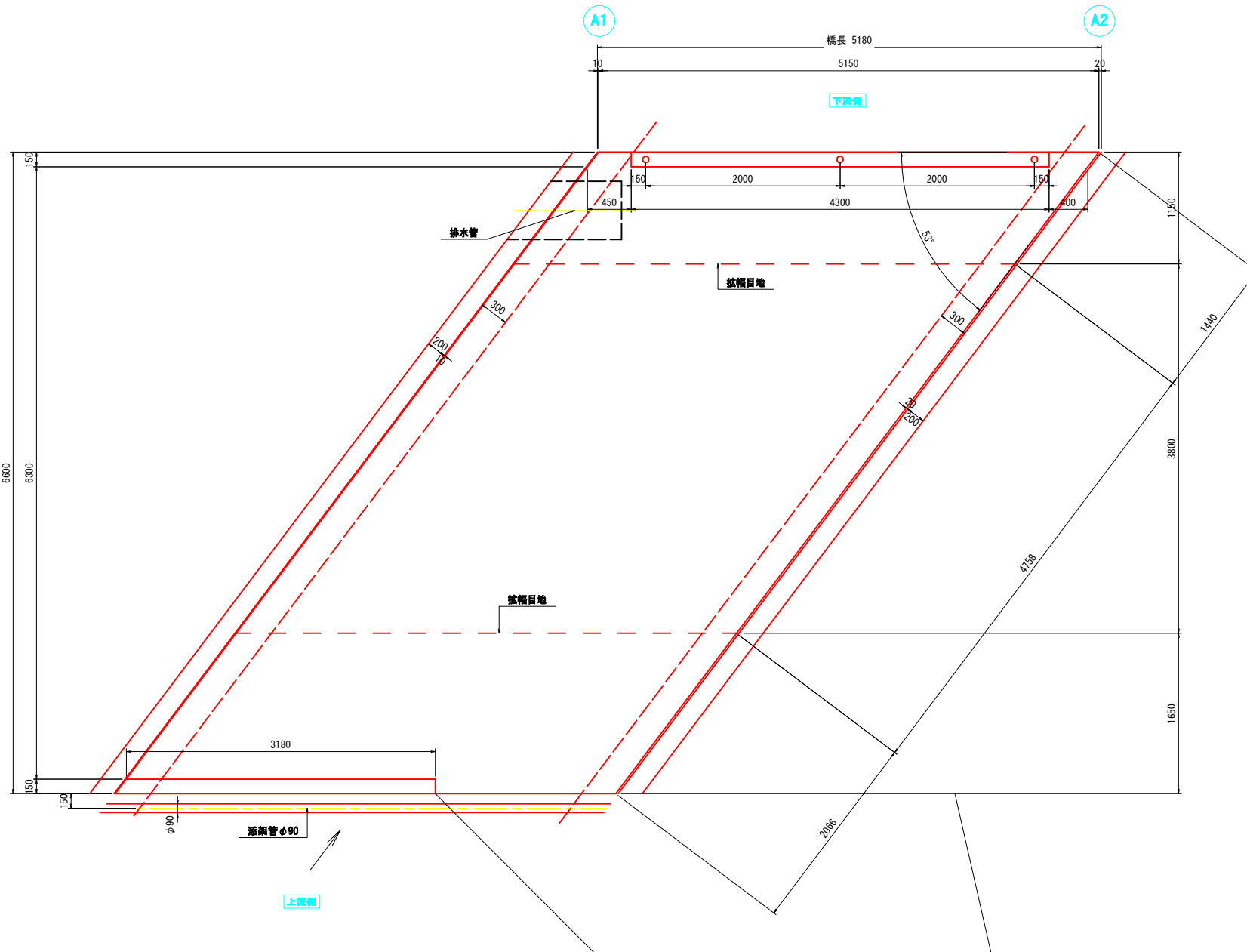
工事名	橋梁補修工事 (建設西町17号線1号橋梁外1橋)		
図面名	床版取替え案要領図 (参考図)		
作成年月日	令和2年9月		
縮尺	図示	図面番号	4/8
会社名	三原市		
事業者名	建設部 土木整備課 維持改良係		

現橋一般図(須波西町5号線2号桥梁)

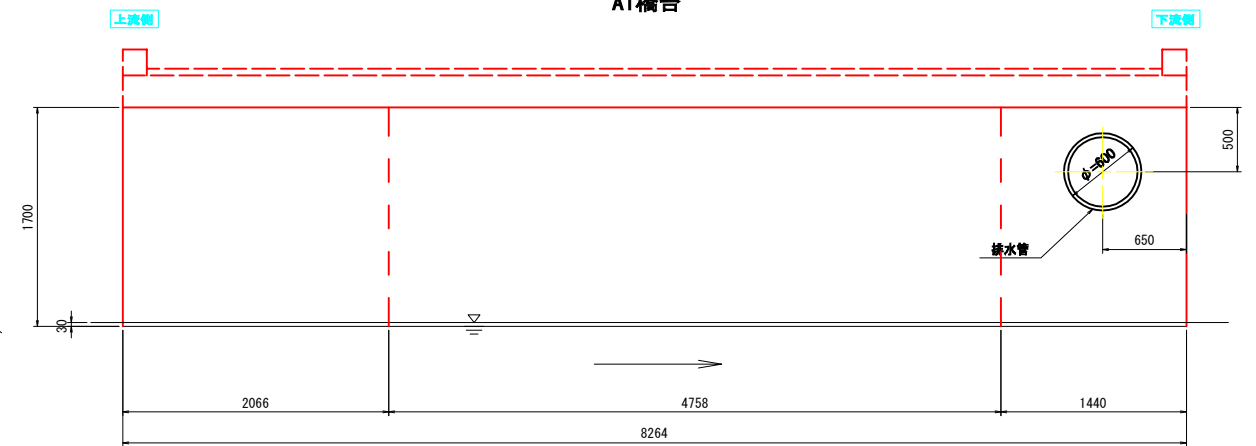
設計条件	
橋格	車道橋
所在地	三原市須波西町二丁目
形式	RC単純床版橋
構造形式	RC単純床版橋+石積橋台
径間数	1径間
橋長	5.180m
桁長	5.180m
幅員	有効幅員 6.300m
斜角	左 53°
平面線形	R=∞
舗装	コンクリート舗装 50mm
設計荷重	床版 T-14 (二等橋)
添加物	-
鋼材材質	SS41 (想定)
下部工基礎	直接基礎(想定)
適用指針	鉄筋コンクリート道路橋設計示方書 (S39年) 鋼道路橋設計示方書 (S39年)
架設年次	1970年(RC橋)



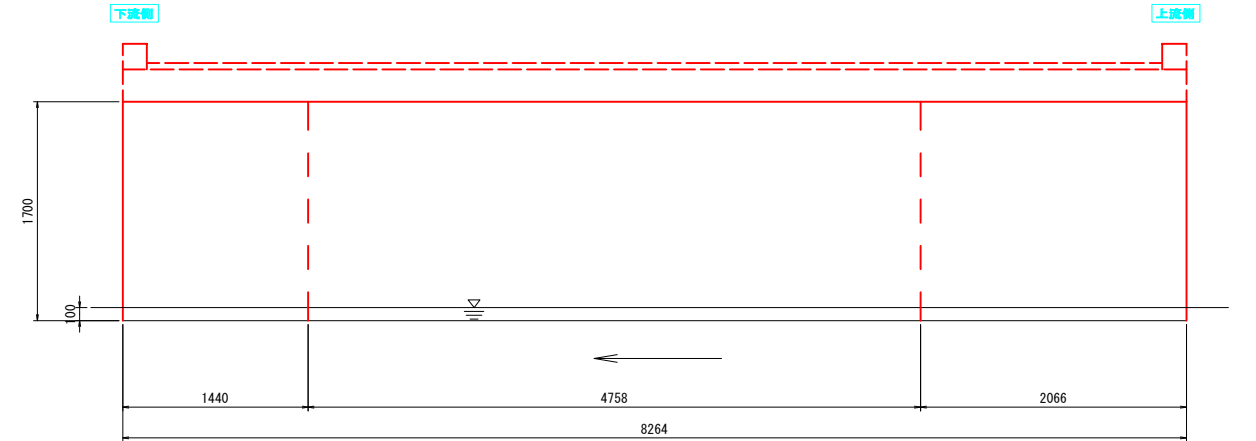
平面図 S=1/30



正面図 S=1/30
A1橋台



A2橋台



注記)
1. 本図面は、既存資料及び現地寸法調査にて作成した図面である。

工事名	橋梁補修工事(須波西町17号線1号橋梁外1橋)		
図面名	現橋一般図(須波西町5号線2号桥梁)		
作成年月日	令和2年9月		
縮尺	図示	図面番号	5/8
会社名	三原市		
事業者名	建設部 土木整備課 維持改良係		

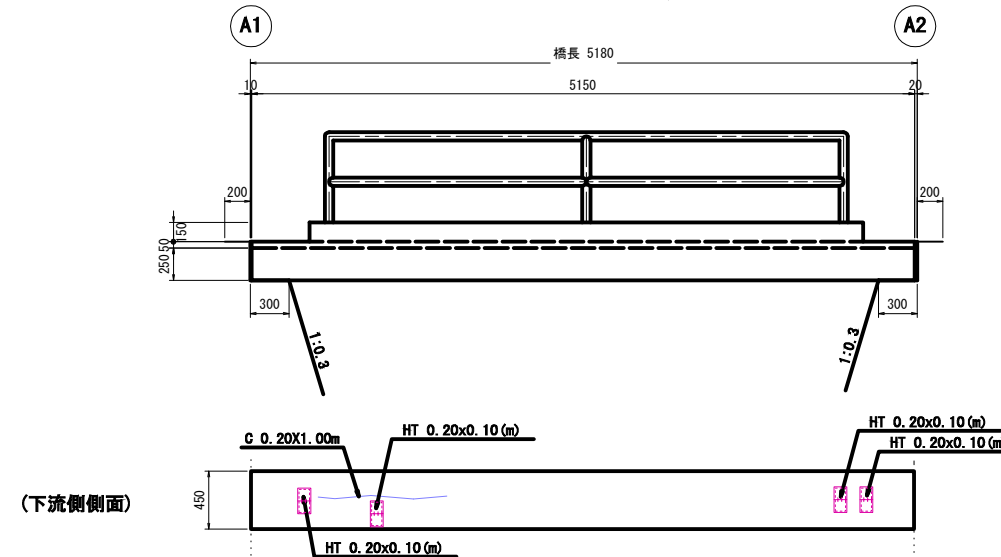
損傷図(須波西町5号線2号桥梁)

橋面状況

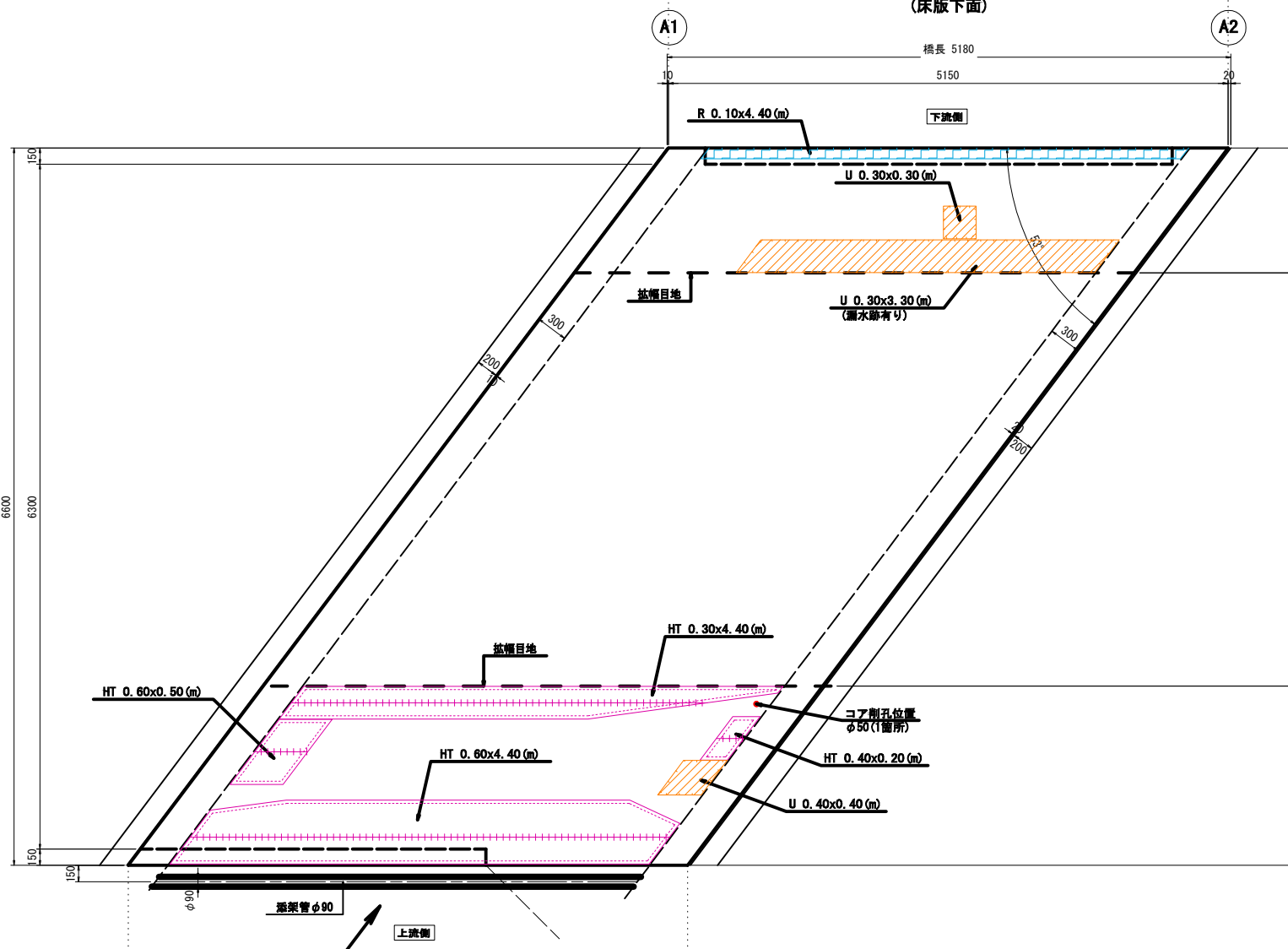
ひびわれ 幅=5mm L=5.5m (1箇所当たり)
(拡幅目地に沿ったひびわれ)



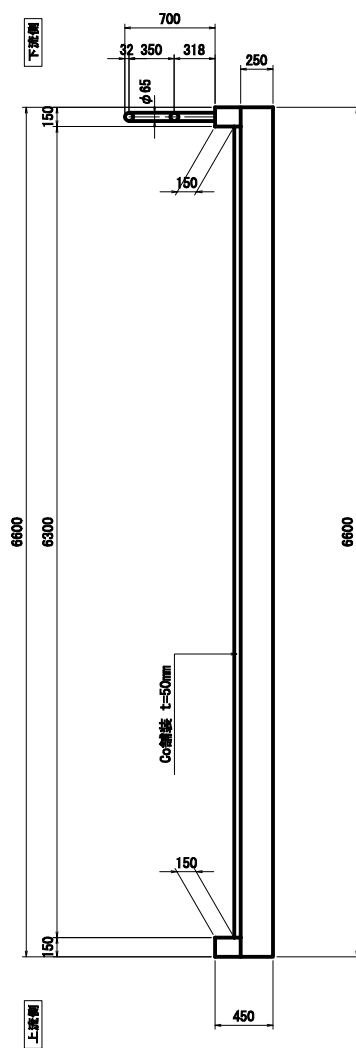
側面図 S=1/30



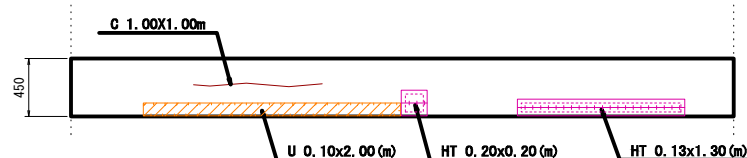
平面図 S=1/30 (床版下面)



断面図 S=1/30



(上流側側面)



凡例

C	ひび割れ(0.2~1.0mm未満)
CS	錆を伴うひび割れ(0.2~1.0mm未満)
c	ひび割れ(1.0mm以上)
CS	錆を伴うひび割れ(1.0mm以上)
U	コンクリートの浮き
H	コンクリートの剥離
HT	コンクリートの剥離・鉄筋露出
Y	遊離石灰又はエフロレッセンス
R	漏水
T	鉄筋露出
J	ジャンカ

※ひび割れ(0.2mm未満)に関しては対象外とし計上しない。

注記

1. 本図面は、既存資料及び現地寸法調査にて作成した図面である。

工事名	橋梁補修工事(須波西町17号線1号橋梁外1橋)		
図面名	損傷図(須波西町5号線2号橋梁)		
作成年月日	令和2年9月		
縮尺	図示	図面番号	6/8
会社名	三原市		
事業者名	建設部 土木整備課 維持改良係		

補修図(須波西町5号線2号橋梁)(その1)

上部工

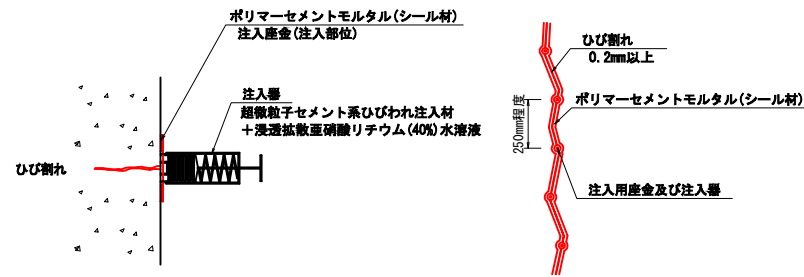
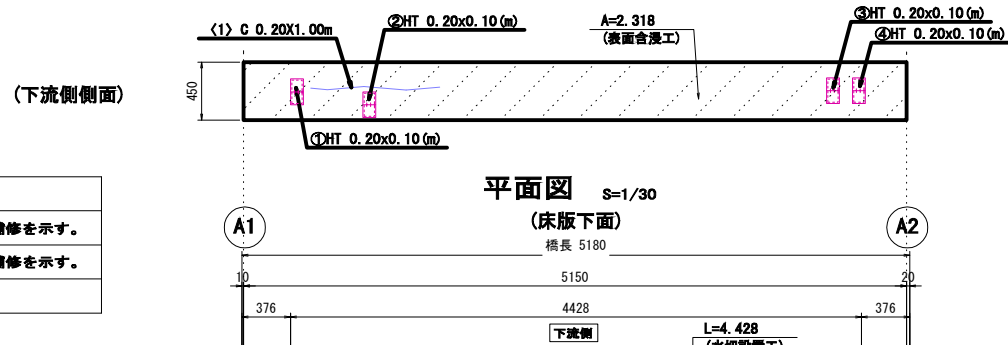
(ひび割れ補修工・断面修復工・表面被覆工・水切設置工)

ひび割れ補修工詳細図(参考図)

(ひび割れ幅 0.2mm以上)

凡例

C	ひび割れ：ひび割れ補修工にて補修を示す。
U	コンクリートの浮き：断面修復工にて補修を示す。
HT	コンクリートの剝離・鉄筋露出：断面修復工にて補修を示す。
	表面含浸工塗布部分を示す。

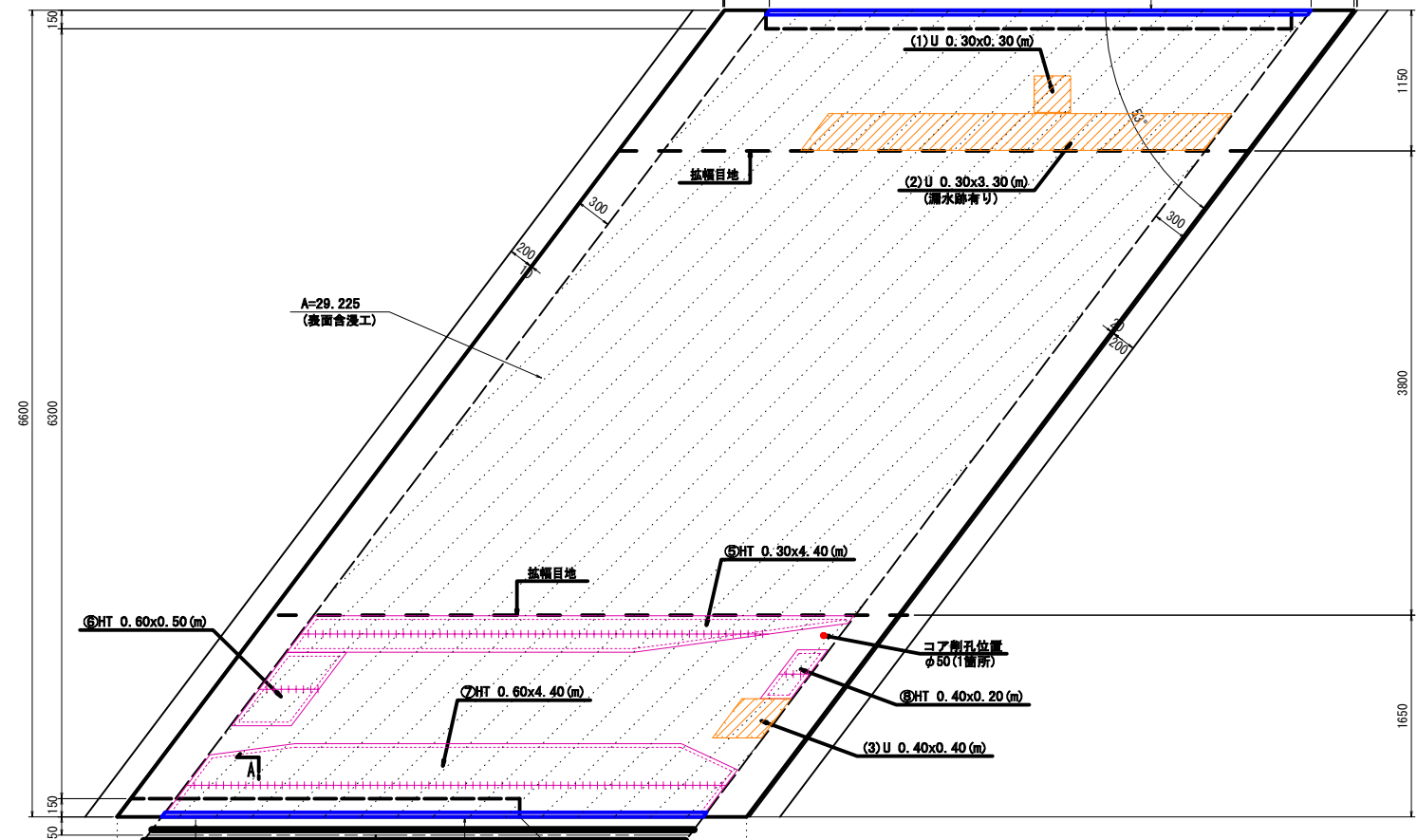
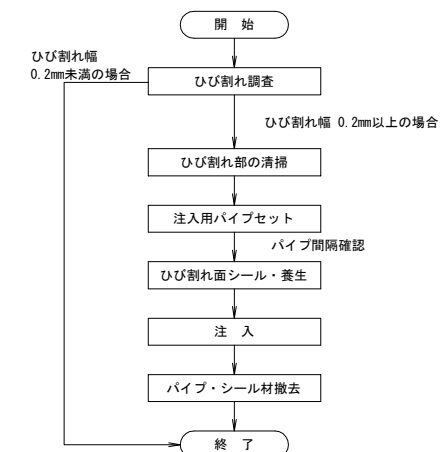


注記)
1. シーリング範囲は施工前に下地処理を行うこと。
2. 下地処理後はエアークリーパーなどで付着した粉塵等を十分除去すること。

材料表

工種	仕様
ひびわれ注入工	超微粒子セメント系ひびわれ注入材 + 浸透拡散亜硝酸リチウム(40%)水溶液

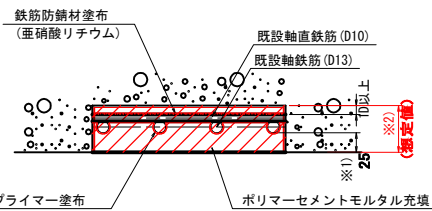
施工フロー



断面修復工詳細図(参考図)

(左官工法)

復旧図

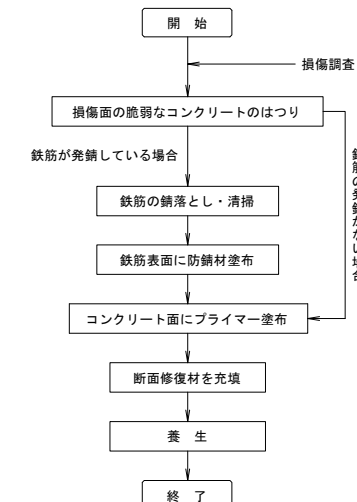


※1) かぶり：S33コンクリート標準示方書、現地調査結果 参照
※2) 上部工：65mm=25mm(かぶり)+40mm(軸鉄筋D13+軸直鉄筋D10+1D以上)

材料表

工種	仕様
プライマー・鋼材防錆処理工	亜硝酸リチウム
断面修復工	ポリマーセメント系モルタル材

施工フロー

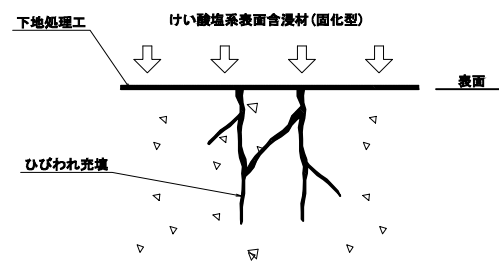


注記)

- 本図面は、調査結果をもとに作成した図面である。
- 施工時には、天候に十分注意をすること。
- 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- はつり後、鉄筋発錆がある場合は、ワイヤーブラシ等で錆を落とし防錆材塗布する。又、必要に応じて鉄筋を交換する。その後、鉄筋背面まで隙間なくコンクリートの充填を行うこと。
- はつり断面はフェザージェッジを形成しない様、注意すること。
- はく落防止として必要であればメッシュ等を配置し対応すること。
- 防錆材は塗り残しがないよう入念に行うこと。
- はつり面に凹凸がある場合は既設コンクリート面と修復材との間に空隙が残らない様に適切な処置を行うこと。
- コンクリートのはつり作業時において補修材及びはつり粉等の落下を防ぐよう防護すること。
- はつり後、ひび割れ損傷が深層部にて確認される場合は、ひびわれ注入工と併用し施工すること。
- 表面被覆材塗布前にはケレン処理、高圧洗浄などにより、塗布面を十分に清掃し、汚れやエフロレッセンスなどを除去すること。
- 表面被覆材塗布前にはCo損傷部は事前に補修を施すこと。
- 必要塗布量を満たすように塗布すること。

表面被覆工詳細図(参考図)

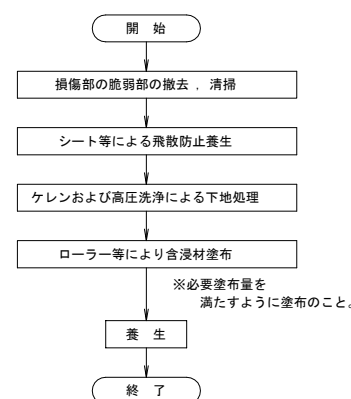
(表面含浸材塗布)



材料表

工種	仕様
表面含浸工	1層: けい酸塩系表面含浸材(固化型) <150g/m2 2層: けい酸塩系表面含浸材(固化型) <150g/m2

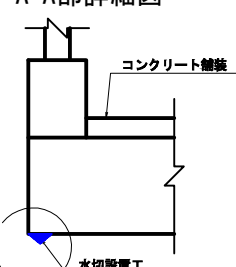
施工フロー



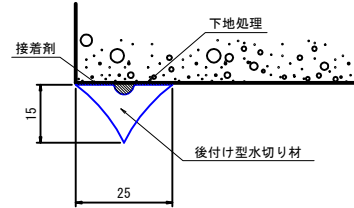
補修工法

工種	細別	規格・材料
断面修復工	はつり工	左官作業
	断面修復工	ポリマーセメント系モルタル材
ひび割れ補修工	ひび割れ注入工	超微粒子セメント系注入材
	表面被覆工	高圧洗浄
表面被覆工	下地処理	中性化対策
	下地処理	けい酸塩系表面含浸材(固化型)
水切設置工	下地処理	サンダーケレン
	水切設置工	後付け型水切り材
止水処理工	縦目地部	Coフレキシブル補修材
	伸縮部	可とう性エポキシ樹脂

A-A部詳細図



B部詳細図



注) 1. ディスクサンダーまたはブラシ等によるケレンを行い、コンクリート表面の塵埃、油脂等の汚れを除去すること。必要に応じてフローラーも併用すること。
2. 接着剤を塗った水切り材をコンクリート表面に押し付けて取り付けること。
3. コンクリート表面に汚れが残ると接着不良を起こすので、下地処理は適切に行うこと。

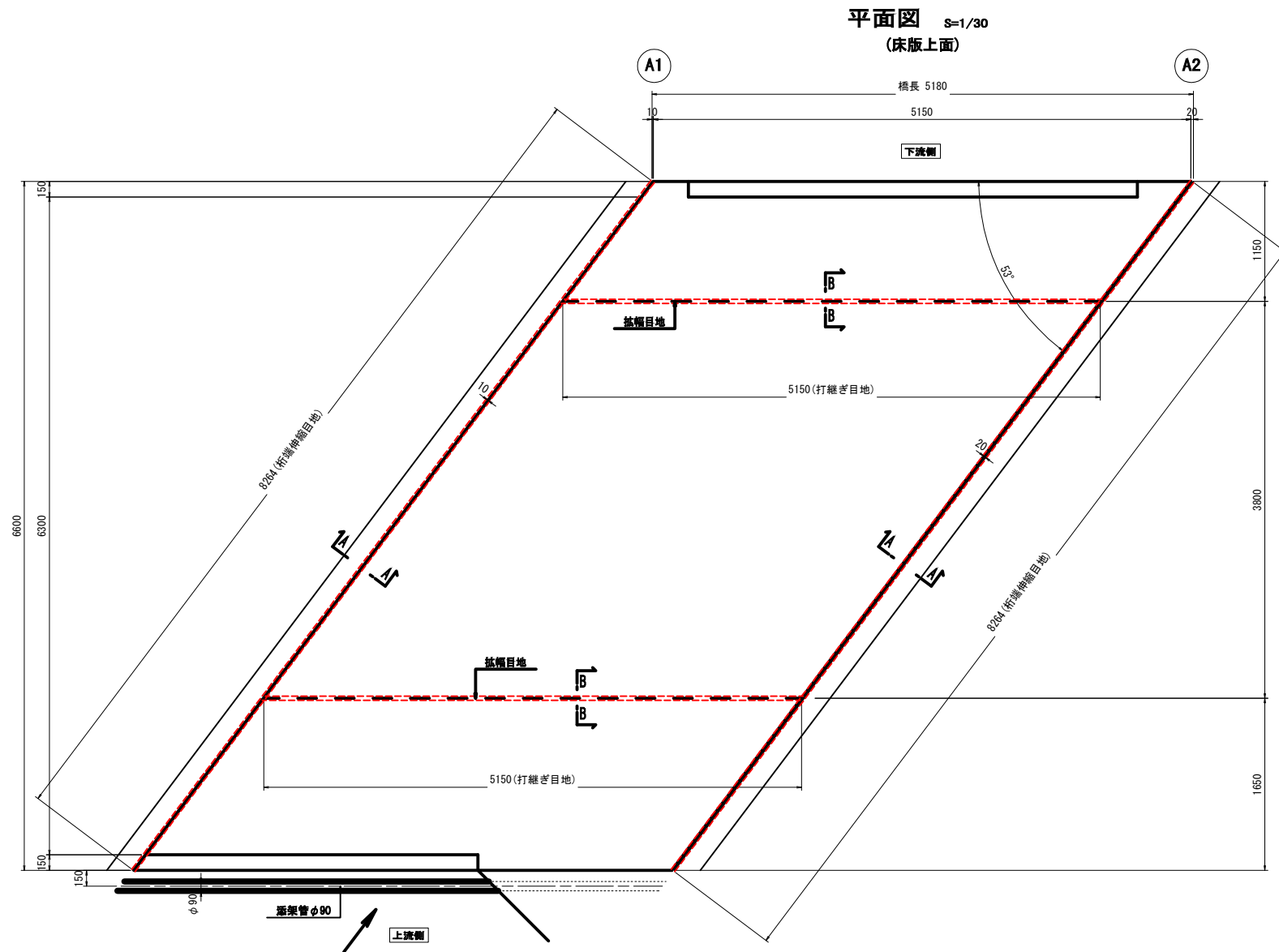
注) 含浸材は、断面修復工の有無に関わらず、主桁の下面および側面全体に対して塗布すること。

工事名	橋梁補修工事(須波西町17号線1号橋梁外1橋)		
図面名	補修図(須波西町5号線2号橋梁)(その1)		
作成年月日	令和2年9月		
縮尺	図示	図面番号	7/8
会社名	三原市		
事業者名	建設部 土木整備課 維持改良係		

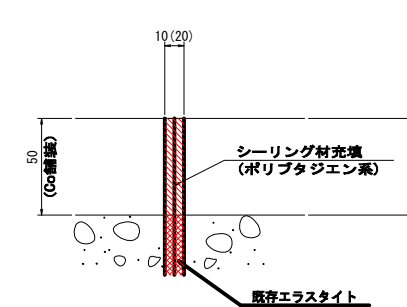
補修図(須波西町5号線2号橋梁)(その2)

上部工 (止水処理工)

止水処理工詳細図(参考図)



桁端伸縮目地止水処理 (A-A)

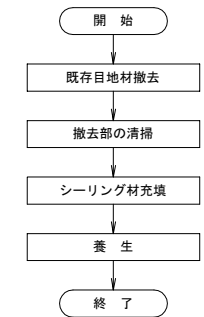


注記)
1. 既存目地材残存箇所においては、カッター切削の上、撤去すること。既存目地材抜落ち箇所があればバックアップ材を配置すること。

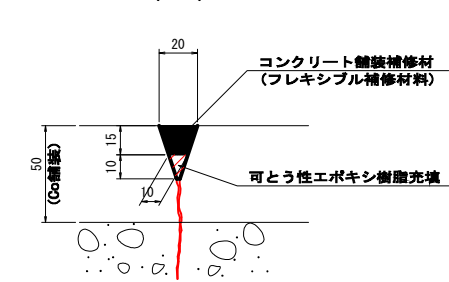
材料表

工種	仕様
桁端伸縮目地止水処理	シーリング材 (ポリウレタン系)

施工フロー



打継ぎ目地止水処理 (B-B)

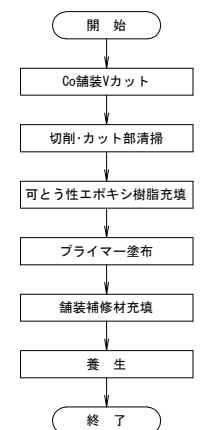


注記)
1. 切削・カット後はエアークリーパーなどで付着した粉塵等を十分除去すること。

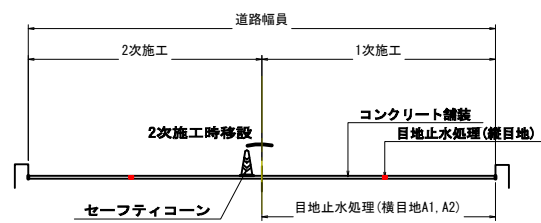
材料表

工種	仕様
打継ぎ目地止水処理	コンクリート舗装補修材 (フレキシブル補修材料)
	可とう性エポキシ樹脂

施工フロー

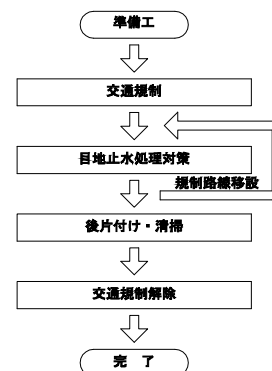


規制要領図



注: 交通整備員を配置して片側交互交通規制による施工とする。

規制施工フロー



- 注記)
1. 本図面は、調査結果をもとに作成した図面である。
 2. 施工時には、天候に十分注意をすること。
 3. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 4. 処理断面はフェザーエッジを形成しない様、注意すること。
 5. 舗装切削後、ひび割れ損傷が深部にて確認される場合は、ひび割れ注入工と併用し施工すること。
 6. 舗装切削時は床版を損なわないよう施工すること。
 7. 舗装切削後、著しく床版上面が損傷している場合は別途対策を講じること。(要発注者協議)

工事名	橋梁補修工事(須波西町17号線1号橋梁外1橋)		
図面名	補修図(須波西町5号線2号橋梁)(その2)		
作成年月日	令和2年9月		
縮尺	図示	図面番号	8/8
会社名	三原市		
事業者名	建設部 土木整備課 維持改良係		

参 考 资 料

— 橋梁補修工事（須波西町 1 7 号線 1 号橋梁外1橋） —

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 59 三原市 00-02. 09. 01 (0) 1 公共(一般)		≪凡例≫ Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 ICT補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事 須波西町17号線1号橋梁	1	式			Y1G03 レベル1 A=0, B=0, C=0, D=0, G=1
上部工	1	式			Y1G0301 レベル2 A=0, B=0, D=0, E=0, G=1
舗装工	1	式			Y1G030101 レベル3 A=0, D=0, G=1
アスファルト舗装 t=60mm	10	m2			Y1G03010101 レベル4 A=0, D=0, G=1
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm超70mm以下 1層当り平均仕上厚60mm	10	m2			SPK20040241 00 単第0 -0001 表
床版架替工	1	式			Y1G030102 レベル3 A=0, D=0, G=1
プレキャスト床版 1700*1144*200	5	枚			Y1G03010201 レベル4 A=0, D=0, G=1
床版設置工 1700*1144*200	5	枚			V0000000006 00 単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物撤去工	1	式			Y1G030103 レベル3
アスファルト舗装取壊し t=60mm	10	m2			Y1G03010301 レベル4 A=0, D=0, G=1
舗装版切断 t=60mm アスファルト舗装版厚15cm以下	14	m			SPK20040308 00 単第0 -0004 表
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害有り 舗装版厚4cmを超え10cm以下	10	m2			SPK20040307 00 単第0 -0005 表
コンクリート構造物取壊し 無筋構造物、人力	0.2	m3			Y1A01140601 レベル4 A=0, D=0, G=1
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工	0.2	m3			SDT00031 00 単第0 -0006 表
コンクリート構造物取壊し 鉄筋構造物 人力	2	m3			Y1A01140601 レベル4 A=0, D=0, G=1
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 人力施工	2	m3			SDT00033 00 単第0 -0007 表
運搬処理工	1	式			Y1G030104 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 アスファルト殻	0.6	m3			Y1G03010401レベル4 A=0, D=0, G=1
殻運搬 舗装版破碎 人力積込 DID区間有り 運搬距離10.5km以下(8.0km超)	0.6	m3			SPK20040146 00 単第0 -0008 表
殻処分 アスファルト殻	1	t			Y1G03010402レベル4 A=0, D=0, G=1
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
処分費 アスファルト殻	1	t			F0000000016 00
殻運搬 無筋コンクリート	0.2	m3			Y1G03010401レベル4 A=0, D=0, G=1
殻運搬 Co(無筋・鉄筋) 構造物とりこわし 人力積込 DID区間有り 運搬距離10.5km以下(8.0km超)	0.2	m3			SPK20040146 00 無筋コンクリート 単第0 -0009 表
殻処分 無筋コンクリート	0.5	t			Y1G03010402レベル4 A=0, D=0, G=1
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
処分費 無筋コンクリート	0.5	t			F0000000017 00
殻運搬 鉄筋コンクリート	2	m3			Y1A01030202レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし 人力積込 DID区間有り 運搬距離10.5km以下 (8.0km超)	2	m3			SPK20040146 00 鉄筋コンクリート 単第0 -0010 表
殻処分 鉄筋コンクリート	4	t			Y1A01030203レベル4 A=0, D=0, G=1
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
処分費 鉄筋コンクリート	4	t			F0000000018 00
下部工	1	式			Y1G0302 レベル2
石積充填工	1	式			Y1G030201 レベル3
石積充填	0.6	m3			Y1G03020101レベル4 A=0, D=0, G=1

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
透水コンクリート充填	0.6	m3			V000000007 00
仮設工	1	式			単第0 -0011 表 Y1G0328 レベル2
交通管理工	1	式			Y1G032821 レベル3
交通誘導警備員	4	人			Y1G03282101 レベル4
交通誘導警備員B	4	人			R0369 00
橋梁保全工事 須波西町5号線2号橋梁	1	式			Y1G03 レベル1 A=0, B=0, C=0, D=0, G=1
上部工	1	式			Y1G0301 レベル2 A=0, B=0, D=0, E=0, G=1
断面修復工	1	式			Y1G030101 レベル3 A=0, D=0, G=1
断面修復工	1	構造物			Y1G03010101 レベル4 A=0, D=0, G=1

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・防錆処理を含む) 修復延べ体積0.395m3	1	構造物			V1020041 00 単第0 -0018 表
ひび割れ補修工	1	式			Y1G030102 レベル3 A=0, D=0, G=1
ひび割れ注入工	1	構造物			Y1G03010201 レベル4
ひびわれ補修工(低圧注入工法) 0.2~2.0mm_補修延べ延長区分25m未満	1	構造物			V0000000010 00 単第0 -0019 表
表面被覆工	1	式			Y1G030103 レベル3
下地処理 施工規模100m2以下	34	m2			Y1G03010301 レベル4 A=0, D=0, G=1
下地処理工 施工規模100m2以下	34	m2			V0000000018 00 単第0 -0020 表
表面被覆工 施工規模100m2以下	34	m2			Y1G03010301 レベル4 A=0, D=0, G=1
表面含浸工 施工規模100m2以下	34	m2			V0000000019 00 単第0 -0021 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水切設置工	1	式			Y1G030102 レベル3 A=0, D=0, G=1
水切設置工 軟質PVC製	9	m			Y1G03010201 レベル4 A=0, D=0, G=1
水切設置工	9	m			V0000000005 00 単第0 -0022 表
止水処理工	1	式			Y1G030102 レベル3 A=0, D=0, G=1
伸縮目地止水処理工 (縦目地) シーリング材充填	17	m			Y1G03010201 レベル4
既設目地撤去工	17	m			V0000000001 00 単第0 -0023 表
止水処理工 シーリング材充填	17	m			V0000000002 00 単第0 -0024 表
打継ぎ目地止水処理工 (横目地)	10	m			Y1G03010201 レベル4
Co舗装Vカット工 W=10~15mm, h=25mm	10	m			V0000000003 00 単第0 -0025 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
伸縮目地設置工 W=10~15mm, h=15mm	10	m			V000000004 00
運搬処理工					単第0 -0026 表 Y1G030104 レベル3
殻運搬 無筋コンクリート	1	式			Y1A01030202 レベル4
殻運搬 無筋コンクリート	0.3	m3			Y1A01030202 レベル4
殻運搬 Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 人力積込 DID区間有り 運搬距離10.5km以下 (8.0km超)	0.3	m3			SPK20040146 00
殻処分 無筋コンクリート	0.3	m3			単第0 -0027 表 Y1A01030203 レベル4
殻処分 無筋コンクリート	0.7	t			Y1A01030203 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
処分費 無筋コンクリート	0.7	t			F0000000012 00
仮設工	1	式			Y1G0328 レベル2
交通管理工	1	式			Y1G032821 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員	12	人			Y1G03282101レベル4
交通誘導警備員B	12	人			R0369 00
直接工事費 #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……		率補正率……			
工事原価					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理费率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額 計算情報…… 対象額…… 率……					
工事費計					
契約保証費計					

施工単価表

頁0 -0012

表層(車道・路肩部)

SPK20040241

単第0 -0001 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm超70mm以下 1層当り平均仕上厚60mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.43% 労務構成比: 41.98% 材料構成比: 57.59% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 3,026.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.26%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 運転質量40~60kg	0.12%		振動コンパクタ 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.86%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	12.12%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	3.53%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	56.13%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚67.5mm		TTPCD0038 TTPT00290
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	1.30%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK20040241

単第0 -0001 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm超70mm以下) 1層当り平均仕上厚60mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.43% 労務構成比: 41.98% 材料構成比: 57.59% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,026.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.11%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.03%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=2 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm超70mm以下) C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=2 小型車割増有 I=1 -(全ての費用)			B=60 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):60.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0016

舗装版切断

SPK20040308

単第0 -0004 表

t=60mm

アスファルト舗装版厚15cm以下

1 m 当り

機械構成比: 6.29% 労務構成比: 54.24% 材料構成比: 39.47% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 558.1000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	4.25%		コンクリートカッター バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	18.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.56%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	36.63%		コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.92%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版破碎

SPK20040307

単第0 -0005 表

アスファルト舗装版

障害有り 舗装版厚4cmを超え10cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 2.07%

労務構成比:

95.27%

材料構成比:

2.66%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

4,454.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>空気圧縮機(エンジンコンプレッサ) 吐出量3.5~3.7m3/min 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.63%		空気圧縮機 [可搬式・エンジン掛] 3.5~3.7m3/min		KTPC00011 KTPT00011
さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級	0.44%		さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級		MTPC00037 MTPT00037
特殊作業員	52.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	43.10%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	2.66%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 D=5 舗装版厚4cmを超え10cm以下 G=1 -(全ての費用)			B=2 障害有り F=1 積込作業有り		

施工単価表

頁0 -0021

般運搬 SPK20040146 単第0 -0008 表
 舗装版破碎 人力積込 DID区間有り 運搬距離10.5km以下 (8.0km超) 1 m3 当り
 機械構成比: 20.12% 労務構成比: 70.66% 材料構成比: 9.22% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 6,525.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.12%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	70.66%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	9.22%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=2 人力積込 D=47 運搬距離10.5km以下(8.0km超)		

施工単価表

殻運搬 SPK20040146 単第0 -0009 表
 Co (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし 人力積 DID区間有り 運搬距離10.5km以下(8.0km超) 無筋コンクリート 1 m3 当り
 機械構成比: 20.12% 労務構成比: 70.66% 材料構成比: 9.22% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 6,525.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.12%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	70.66%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	9.22%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=2 人力積込 D=47 運搬距離10.5km以下(8.0km超)		

施工単価表

殻運搬 SPK20040146 単第0 -0010 表
 Co(無筋)構造物とりこわし 人力積込 DID区間有り 運搬距離10.5km以下(8.0km超 鉄筋コンクリート 1 m3 当り
 機械構成比: 20.12% 労務構成比: 70.66% 材料構成比: 9.22% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 6,525.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.12%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	70.66%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	9.22%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=2 E=1	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし DID区間有り -(全ての費用)		B=2 D=47	人力積込 運搬距離10.5km以下(8.0km超)	

施工単価表

透水コンクリート充填

V0000000012

単第0 -0012 表

頁0 -0025

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.7	人			
特殊作業員 充填・攪拌	8.7	人			
普通作業員 充填・攪拌	2.8	人			
普通作業員 目地部仕上	1.2	人			
タンブラー攪拌・圧送機運転	2	日			単第0-0013 表
コンプレッサー運転 3.5~5.0m3/min	2	日			単第0-0014 表
発電機運転 3.0KVA	2	日			単第0-0015 表
トラッククレーン【油圧伸縮ジブ型】 3.0t	2	日			
諸雑費	25	%			#01
*** 単位当たり ***	1	m3			

施工単価表

ひびわれ補修工（低圧注入工法）
0.2～2.0mm 補修延べ延長区分25m未満

V0000000010

単第0 -0019 表

1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.5	人			
特殊作業員	2.4	人			
普通作業員	1.8	人			
超微粒子セメント系注入材	0.66	kg			
浸透性拡散型亜硝酸リチウム40%水溶液	0.73	kg			
ひび割れシール用（亜硝酸リチウム含浸ペー リハビリペースト（コテ塗用）比重2.0	0.78	kg			
低圧注入器具 リハビリシリンダー	8	本			
諸雑費	6	%			#01
雑材料	14	%			#01
*** 単位当たり ***	1	構造物			

施工単価表

殻運搬 SPK20040146 単第0 -0027 表
 Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 人力積込 DID区間有り 運搬距離10.5km以下 (8.0km超) 1 m3 当り
 機械構成比: 20.12% 労務構成比: 70.66% 材料構成比: 9.22% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 6,525.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.12%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	70.66%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	9.22%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=2 E=1			B=2 D=47		
Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし DID区間有り -(全ての費用)			人力積込 運搬距離10.5km以下(8.0km超)		

数量総括表

—橋梁補修工事（須波西町17号線1号橋梁外1橋）—

第6章 数量計算書

(須波西町17号線1号橋梁)

6.1 数量総括表

工種	種別	細別	規格	単位	合計	計上数量	備考	
上部工	舗装工	アスファルト舗装	t=60mm	m ²	9.98	10.00		
	床版架替工	プレキャスト床版	1700×1144×200	枚	5	5.00	T-14 (HSスラブ) 搬入～据付け	
	とり壊し工	As舗装カッター工	As舗装15cm以下		m	13.96	14.00	
		As舗装撤去工	t=60mm		m ²	9.98	10.00	
			9.98*0.06		m ³	0.60	0.60	
					t	1.4	1.00	
		無筋コンクリート撤去工			m ³	0.22	0.20	床版据付部整正処理 (現場調整)
					t	0.5	0.50	
					m ³	1.51	2.00	
	鉄筋コンクリート撤去工			t	3.8	4.00		
下部工	石積充填工		透水コンクリート充填	m ³	0.58	0.60		
安全管理	交通誘導	交通誘導員B		人	4	4.00		

6.2 とり壊し工

1. アスファルト舗装撤去

1) As舗装カッター工

$$L = (4.429 + 1.291 + 0.150) \times 2 + 2.219 = 13.959 \text{ m}$$

2) As舗装撤去工 (t= 60 mm)

$$L = (4.429 + 1.291 + 0.150) \times 1.700 = 9.979 \text{ m}^2$$

$$W = 9.979 \times 0.060 \times 2.35 = 1.4 \text{ t}$$

2. 無筋コンクリート撤去

1) 台座部(下部工)撤去

$$V = 1.291 \times 0.300 \times 0.120 = 0.046 \text{ m}^3$$

$$W = 0.046 \times 2.35 = 0.108 \text{ t}$$

2) 無筋床版撤去

$$V = 1.291 \times 0.080 \times 1.700 = 0.176 \text{ m}^3$$

$$W = 0.176 \times 2.35 = 0.414 \text{ t}$$

3) 無筋コンクリート集計

$$V = 0.222 \text{ m}^3$$

$$W = 0.522 \text{ t}$$

3. 鉄筋コンクリート撤去

$$V = 4.429 \times 0.200 \times 1.700 = 1.506 \text{ m}^3$$

$$W = 1.506 \times 2.50 = 3.765 \text{ t}$$

6.3 床版架替工

1) プレキャスト床版 (5枚 1700×1144×200)

$$N = \quad = \quad 1 \quad \text{式}$$

2) 端部処理

$$N = \quad = \quad 1 \quad \text{式}$$

6.4 舗装工

2) アスファルト舗装工 (t= 60 mm)

$$L = (4.429 + 1.291 + 0.150) \times 1.700 = 9.979 \text{ m}^2$$

6.5 下部工

1. 石積充填工 (透水コンクリート充填)

1) A1橋台

$$k = 20.0 \% \quad (\text{間隙率})$$

$$A1 = 8.800 \times 0.800 \times 0.20 \quad A1 = 1.408 \text{ m}^2$$

$$t = 30.0 \text{ cm} \quad (\text{間隙深さ})$$

$$V1 = 1.408 \times 0.30 \quad V1 = 0.422 \text{ m}^3$$

2) A2橋台

$$k = 20.0 \% \quad (\text{間隙率})$$

$$A2 = 8.800 \times 0.300 \times 0.20 \quad A2 = 0.528 \text{ m}^2$$

$$t = 30.0 \text{ cm} \quad (\text{間隙深さ})$$

$$V2 = 0.528 \times 0.30 \quad V2 = 0.158 \text{ m}^3$$

3) 合計

$$V = 0.422 + 0.158 \quad V = 0.580 \text{ m}^3$$

第6章 数量計算書

(須波西町5号線2号橋梁)

6.1 数量総括表

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	合 計	計上数量	備 考
上部工	断面修復工	断面修復工	ポリマーセメント系モルタル材 (亜硝酸リチウム混入)	m ³	0.395	0.40	
	ひび割れ補修工	ひび割れ注入工 0.2~1.0mm未満	超微粒子セメント系ひびわれ注入材+ 浸透拡散亜硝酸リチウム(40%)水溶液	m	1.000	1.00	
		ひび割れ注入工 1.0~2.0mm未満	超微粒子セメント系ひびわれ注入材+ 浸透拡散亜硝酸リチウム(40%)水溶液	m	1.000	1.00	
	表面被覆工	下地処理	高圧洗浄	m ²	33.860	34.00	
		表面被覆工	1層+2層:けい酸塩系表面含浸材 (固化型)<150g/m ²	m ²	33.860	34.00	
	水切設置工	水切設置工	後付け型水切り材	m	8.860	9.00	
	止水処理工	伸縮目地止水処理工 (縦目地)	既設目地撤去	m	16.528	17.00	
			止水処理工(シーリング材充填)	m	16.528	17.00	
		打継ぎ目地止水処理 (横目地)	Co舗装Vカット	m	10.300	10.00	
			伸縮目地設置工	m	10.300	10.00	
	運搬処理工	殻運搬	Co殻, DID有, 8.0km以下	m ³	0.279	0.30	
殻処分			t	0.656	0.70	0.279*2.35=0.65565	
安全管理	交通誘導	交通誘導員B		人	12.000	12.00	

6.2 上部工

1. 断面修復工

1) はつり殻(人力運搬)

$$V = 0.185 + 0.094 = 0.279 \text{ m}^3$$

$$W = 0.279 \times 2.35 = 0.656 \text{ t}$$

2) 断面修復工 (ポリマーセメントモルタル)

$$V = 0.301 + 0.094 = 0.395 \text{ m}^3$$

(亜硝酸リチウム水溶液)

コンクリート 1m³あたりの亜硝酸リチウム水溶液の必要量は3.85kg/m³

$$\begin{array}{ccc} \text{亜硝酸リチウム} & \text{ロス率} & \\ 3.85 & \times & 1.18 = 4.543 \end{array} \quad \text{断面修復工0.1m}^3\text{当りの必要量0.4543kg}$$

2. ひび割れ注入工

(超微粒子セメント系ひびわれ注入材)

1) 0.2~1.0mm未満

$$L = 1.00 = 1.00 \text{ m}$$

$$W = \begin{array}{cccccc} \text{ひび割れ幅} & \text{ひび割れ深さ} & \text{延長} & \text{密度 (Kg/m}^3\text{)} & \text{ロス率} & \\ 0.001 & \times & 0.150 & \times & 1.00 & \times & 975 & \times & 1.5 & \text{(注入材)} & = & 0.22 \text{ kg} \end{array}$$

$$W = \begin{array}{cccccc} \text{ひび割れ幅} & \text{ひび割れ深さ} & \text{延長} & \text{密度 (Kg/m}^3\text{)} & \text{ロス率} & \\ 0.001 & \times & 0.150 & \times & 1.00 & \times & 1250 & \times & 1.3 & \text{(亜硝酸リチウム)} & = & 0.24 \text{ kg} \end{array}$$

$$W = \begin{array}{cccccc} \text{シール幅} & \text{厚み} & \text{延長} & \text{密度 (Kg/m}^3\text{)} & \text{ロス率} & \\ 0.150 & \times & 0.001 & \times & 1.00 & \times & 2000 & \times & 1.3 & \text{(シール材)} & = & 0.39 \text{ kg} \end{array}$$

$$N = \begin{array}{ccc} \text{延長} & \text{間隔} & \\ 1.00 & / & 0.250 \end{array} \quad \text{(注入器)} = 4 \text{ 本}$$

2) 1.0~2.0mm未満

$$L = 1.00 = 1.00 \text{ m}$$

$$W = \begin{array}{cccccc} \text{ひび割れ幅} & \text{ひび割れ深さ} & \text{延長} & \text{密度 (Kg/m}^3\text{)} & \text{ロス率} & \\ 0.002 & \times & 0.150 & \times & 1.00 & \times & 975 & \times & 1.5 & \text{(注入材)} & = & 0.44 \text{ kg} \end{array}$$

$$W = \begin{array}{cccccc} \text{ひび割れ幅} & \text{ひび割れ深さ} & \text{延長} & \text{密度 (Kg/m}^3\text{)} & \text{ロス率} & \\ 0.002 & \times & 0.150 & \times & 1.00 & \times & 1250 & \times & 1.3 & \text{(亜硝酸リチウム)} & = & 0.49 \text{ kg} \end{array}$$

$$W = \begin{array}{cccccc} \text{シール幅} & \text{厚み} & \text{延長} & \text{密度 (Kg/m}^3\text{)} & \text{ロス率} & \\ 0.150 & \times & 0.001 & \times & 1.00 & \times & 2000 & \times & 1.3 & \text{(シール材)} & = & 0.39 \text{ kg} \end{array}$$

$$N = \begin{array}{ccc} \text{延長} & \text{間隔} & \\ 1.00 & / & 0.250 \end{array} \quad \text{(注入器)} = 4 \text{ 本}$$

3. 表面被覆工

1) 下地処理 (高压洗浄)

$$A = 33.861 = 33.86 \text{ m}^2$$

2) 表面被覆工 (けい酸塩系表面含浸材(固化型))

$$A = 33.86 = 33.86 \text{ m}^2$$

4. 水切設置工

1) 水切設置工 (後付け型水切り材)

$$L = 8.856 = 8.86 \text{ m}$$

6-2(1) 断面修復工計算書

工種	剥離鉄筋露出部 (上部工)		浮き部 (上部工)									
	幅	長さ	=	面積	幅	長さ	=	面積	幅	長さ	=	面積
断面修復工	①	0.20	×	0.10	=	0.020	(1)	0.30	×	0.30	=	0.090
	②	0.20	×	0.10	=	0.020	(2)	0.30	×	3.30	=	0.990
	③	0.20	×	0.10	=	0.020	(3)	0.40	×	0.40	=	0.160
	④	0.20	×	0.10	=	0.020	(4)	0.10	×	2.00	=	0.200
	⑤	0.30	×	4.40	=	1.320						
	⑥	0.60	×	0.50	=	0.300						
	⑦	0.60	×	4.40	=	2.640						
	⑧	0.40	×	0.20	=	0.080						
	⑨	0.20	×	0.20	=	0.040						
	⑩	0.13	×	1.30	=	0.169						
合計(m2)	面積			4.629		1.440						
合計(m3)	はつり工			0.185		0.094						
合計(m3)	断面修復工			0.301		0.094						

注記) 剥離部はつり厚は、0.040 mとする。うき部はつり厚は、0.065 mとする。断面修復厚は、0.065 mとする。

6-2(2) ひび割れ補修工計算書

工種	0.2~1.0mm未満 (上部工)	1.0mm以上 (上部工)						
	長さ	長さ	長さ	長さ	長さ	長さ	長さ	
ひび割れ補修工	<1> 1.00	[1] 1.00						
	合計	1.00	1.00					

6.3 止水処理工

1. 桁端伸縮目地止水処理(横目地)

1) 既設目地撤去

$$L = 8.264 \times 2 = 16.528 \text{ m}$$

2) 止水処理工(シーリング材充填)

同上 = 16.528 m

2. 打継ぎ目地止水処理(縦目地)

1) Vカット処理(カッター工)

$$L = 5.150 \times 2 = 10.300 \text{ m}$$

2) 伸縮目地設置工

同上 = 10.30 m

参 考 図

— 橋梁補修工事（須波西町17号線1号橋梁外1橋） —

位置図

